

2022年度 学校評価報告書

(自己評価・授業評価・学校関係者評価及び次年度方針)

2023年3月31日

大阪信愛学院小学校

学校評価委員会

はじめに

「学校教育法」「学校教育法施行細則」に基づき、2022年度に実施した「学校評価」の内容をご報告致します。

1.建学の精神

「キリストに信頼し、愛の実践に生きる」

1877年(明治10年)、フランスから派遣された4人のシスターたちは、町の中にすてられた子ども達を養育することから始めた。それは「隣人を自分のように愛しなさい」というキリスト教的精神の表れである。その精神に従い、弱い者、困っている者、傷ついている者に手を差し伸べるといふ行為を実践した。

1884年(明治17年)、大阪の川口居留地に最初の女学校が創立された。信愛に集う生徒たちが建学の精神を体現し、社会に貢献できる人間になること、愛と奉仕の精神をもった人間の育成を目指す。

2.教育目標

カトリック精神にもとづく人生観をもたせ、豊かな心を養うと共に、物事を正しく判断して行動し、進んで国際社会に奉仕できる明朗で健康な人を育てることを目指す。

- (1) 魅力ある信愛教育を追求する。
- (2) 生活態度を磨き、実践力をつける。
- (3) 強い身体と豊かな心を育む。
- (4) 基礎学力の定着と向上をはかる。
- (5) グローバル社会で求められる力をつける。
- (6) 募集行事・広報活動の充実をはかる。

3.2022年度(令和4年度)学校目標

- (1) 創立者についての理解を深める。
- (2) 児童が持っている力を最大限に伸ばす。
- (3) 効果的に ICT 機器を活用した授業を展開する。
- (4) 入試関連行事の充実をはかる。

4. 2022年度(令和4年度)学校目標と具体的方策及び評価指標

	今年度の重点目標	具体的な取組計画	評価指標
魅力ある信愛教育を追求する。	聖書の言葉にふれさせる。	毎月のみことばを唱え、自分の生活をふり返る。	みことばを身近なものとしてとらえ、毎日の生活にいかそうとする。
	感謝と思いやりの心を養う。	「神様が、人が、そして自分が好き」という思いを育てる。	お互いの長所、短所を理解し、自分も友達も大切にできる。
生活態度を磨き実践力をつける。	元気な挨拶や返事を励行する。	先生から児童へ、児童から先生へ、児童同士が元気な挨拶をするよう意識づける。	先生や友達、来校者に進んで挨拶ができる。
強い身体と豊かな心を育む。	基本的な礼儀作法や正しい姿勢を励行する。	正しい姿勢で、授業の開始と終了の挨拶をするよう意識づけをする。	休み時間と授業の区別をつけ、集中して学習に臨む姿勢を育てる。
		マナーを守り、安全に登下校できるように指導する。	集団下校を通し、縦割りでマナーを守り、安全に登下校する。
	あきらめず最後までやり通す心を養う。	放課後などの時間を活用し、あきらめず最後まで課題をやり通すよう支援する。	学習で「わからない」をそのままにせず、「わかった」と思えるまで取り組む姿勢を養う。
基礎学力の定着と向上をはかる。	自ら考える姿勢を育む。	新しい学習に対し、主体的に自分の知識を活用し、考えたり調べたりする習慣を身につけさせる。	日々の授業・放課後学習・土曜講座・パワーアップ学習などを通して、ひらめき・やる気・可能性を引き出す。
	効果的にICT機器を活用した授業を展開する。	ICT機器を活用し互いに意見をかわし、それぞれの考えを深める。	タブレットを使った効果的な授業の研究をする。
グローバル社会で求められる力をつける。	進んで英語学習に取り組む姿勢を養う。	英語の課題に、楽しんで取り組む姿勢を養う。	毎日の家庭学習に英語学習を取り入れ、リスニング力を養う。
	異なる考えを柔軟に受け入れる心を育てる。	わがままをおさえ、友達の意見を最後まできけるように導く。	日々の学校生活の中で、何がわがままなのかを伝え、相手の立場になって考えられる児童に育てる。
募集行事・広報活動の充実をはかる。	入試関連行事の充実をはかる。	オープンスクール、入試説明会の充実をはかる。	本校を理解し、入学希望者が増えるよう、それぞれの時期に適切な内容のオープンスクールを実施する。
	ホームページを効果的に活用する。	ホームページのブログによる発信の充実をはかる。	ホームページのブログを利用し、日々の学校生活の様子を伝える。

5. 学校関係者評価

(1) 構成

教育会代表(会長・副会長)・小学校顧問・小学校卒業生代表
関係者(校長・教務主任・担当者)

(2) 開催

令和5年6月29日(木)午前10時30分～午前12時

(3) 評価のために使用した資料

自己評価の結果及びアンケート結果の分析

(4) 学校関係者評価委員会のまとめ

- ・毎月のみ言葉を通して、自分たちの生活を振り返ることができ、自己肯定感が昨年度より増しているのは良かった。
- ・宗教的行事に参加することによって自分と向き合える時間とすることができる
- ・ICT 機器を使用して、最新の学びができるような工夫をしてほしい。
- ・1つ1つにけじめをつけることができるように導くのが大切である。

6. 2022年度(令和4年度) 自己評価及び次年度の課題と改善策

<p>聖書の言葉にふれさせる。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 毎月のみことばを唱え、自分の生活を振り返る。 〈活動実績と自己評価〉 放送朝礼において「毎月のみことば」を全校で唱えている。宗教の時間では、身近な事柄から指導を受けた。 〈次年度の課題と改善策〉 宗教の時間に、それぞれの発達段階に応じて創立者の精神を学ぶ機会をもつ。</p>	自己評価
	B
<p>感謝と思いやりの心を養う。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 「神様が、人が、そして自分が好き」という思いを育てる。 〈活動実績と自己評価〉 誕生日に校長からメッセージカードを受け取り、友達や先生からお祝いの言葉をもらい、自分が大切にされていることを感じる事ができた。 〈次年度の課題と改善策〉 一人ひとりが自己肯定感をさらに深めるように家庭とも連携し、言葉がけを心掛ける。</p>	自己評価
	B
<p>元気な挨拶や返事を励行する。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 先生から児童へ、児童から先生へ、児童同士で、元気な挨拶ができるよう意識づけをする。 〈活動実績と自己評価〉 アンケートでは「あてはまらない」の回答が少し増えた。「よくあてはまる」の回答も減った。しっかり挨拶ができていると実感できるまで、さらに取り組みたい。 〈次年度の課題と改善策〉 児童会が中心になり、児童主導で挨拶運動に取り組めるよう方向づける。</p>	自己評価
	B
<p>基本的な礼儀作法や正しい姿勢を励行する。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 正しい姿勢で、授業の開始と終了の挨拶をするよう意識づ</p>	自己評価

<p>けをする。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 遊びに夢中になりすぎて開始の時間が遅れることがあったが、開始と終了の挨拶はきちんとすることができた。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 授業中の姿勢が良くない児童が見受けられる。良い姿勢で学習できるようその都度声掛けをし、姿勢に対する意識を持たせるようにする。</p> <p>《具体的な取組計画》 マナーを守り、安全に登下校できるように指導する。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 昨年より改善された。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 スクールバスを含め下校のマナーには差が見られる。指導を強化していく。</p>	C
あきらめず最後までやり通す心を養う。	
<p>《具体的な取組計画》 放課後などの時間を活用し、あきらめず最後まで課題をやり通すよう支援する。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 粘り強く取り組む姿勢は、なかなか育っていない。根気強さを育てていくための工夫は必要である。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 粘り強く取り組めるよう、一人ひとりにあった方法を模索し実践する。</p>	自己評価 B
自ら考える姿勢を育む。	
<p>《具体的な取組計画》新しい学習に対し、自分の知識を活用し、考えたり調べたりする習慣を身につけさせる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 めあてにそって、それぞれの考えを出し合い、授業を展開することができたが、アンケートの結果は、少し下がった。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 ICT 機器を活用し、主体的に学べる環境づくりをしていく。意見を述べやすい授業づくりも必要である。</p>	自己評価 B
効果的に ICT 機器を活用した授業を展開する。	
<p>《具体的な取組計画》 基本的な使い方を習得させ、短時間で効果的な学習に活用</p>	自己評価

<p>させる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 現在、4年生以上の子ども達に一人1台のタブレットを持つことによって、情報の授業以外でも使用できるようになった。使いたいときにいつでも使える状態であり、基本的な使い方の習得は進んでおり、どの教科でも十分活用することができるようになってきた。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 4年生以上が個人でタブレットを所有することにより、学習ドリル的なアプリも利用することで学力の向上につなげたい。</p>	A
<p>進んで英語学習に取り組む姿勢を養う。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 英語の課題に、楽しんで取り組む姿勢を養う。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 低学年のうちに家庭学習を習慣づけるために、『毎日の学習』に英語学習の保護者向けガイドラインを載せ、家庭との連携を図った。高学年になると、毎日の取り組み方の差により力の差が出ている。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 児童が家庭学習でも取り組めるようさらに工夫を続ける。</p>	自己評価 B
<p>異なる考えを柔軟に受け入れる心を育てる。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 わがままをおさえ、友達の意見を最後まできけるよう導く。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 昨年よりやや友達の意見よりも自分の考えを優先してしまう傾向にある。授業の中で友達の意見をしっかり聞く機会が減っているのが現状である。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 授業の工夫をして、意見を聞くことを中心に授業の組み立てを考えていく。</p>	自己評価 B
<p>入試関連行事の充実をはかる。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 オープンスクール、保護者のための体験教室の充実をはかる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 オープンスクールなどに来る人たちの数は、変わらないが、募集へとつながっていないのが現状である。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 コロナ禍の時のように人数の制限などは行っていないが、人数が伸びていないのは、保護者のニーズにあった活動を増やしていきたい。</p>	自己評価 A

ホームページの刷新をはかる。

《具体的な取組計画》 ホームページのブログによる発信の充実をはかる。

〈活動実績と自己評価〉

オープンスクールや入試説明会の告知や参加申し込みなど、ホームページを活用できた。

〈次年度の課題と改善策〉

こまめに学習の様子、日々の学校生活の様子を発信する。

自己評価

A

2022年度 学校評価アンケート(年度末)
小学校 本校の取り組み

			よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容				
魅力ある信愛教育を追求する	聖書の言葉にふれさせる。	毎月のみ言葉を唱え、自分の生活を振り返る。	29	64	7	0
	感謝と思いやりの心を養う。	「神様が、人が、そして自分が好き」という思いを育てる。	50	36	14	0
生活態度を磨き実践力をつける	元気な挨拶や返事を励行する。	先生から児童へ、児童から先生へ、児童同士が元気な挨拶をするよう意識づける。	29	57	14	0
強い身体と豊かな心を育む	基本的な礼儀作法や正しい姿勢を励行する。	正しい姿勢で、授業の開始と終了の挨拶をするよう意識付けをする。	43	57	0	0
		マナーを守り、安全に登下校できるように指導する。	29	71	0	0
	あきらめず最後までやり通す心を養う。	放課後などの時間を活用し、あきらめず最後まで課題をやり通すよう支援する。	29	57	14	0
基礎学力の定着と向上をはかる	自ら考える姿勢を育む。	新しい学習に対し、主体的に自分の知識を活用し、考えたり調べたりする習慣を身につけさせる。	14	79	7	0
	効果的にICT機器を活用した授業を展開する。	ICT機器を活用し互いに意見を交わし、それぞれの考えを深める。	14	72	14	0
グローバル社会で求められる力をつける	進んで英語学習に取り組む姿勢を養う。	英語の課題に、楽しんで取り組む姿勢を養う。	36	50	14	0
	異なる考えを柔軟に受け入れる心を育てる。	わがままをおさえ、友達の意見を最後まできけるよう導く。	36	57	7	0
募集行事・広報活動の充実をはかる	入試関連行事の充実をはかる。	オープンスクール、入試説明会の充実をはかる。	50	50	0	0
	ホームページの刷新をはかる。	ホームページのブログによる発信の充実をはかる。	36	57	7	0
						(%)